

平成 22年3月15日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19500652

研究課題名（和文） 消費者シティズンシップの形成と教育

研究課題名（英文） Formation and Education of Consumer Citizenship

研究代表者 花城 梨枝子 (HANASHIRO RIEKO)

琉球大学・教育学部・教授

研究者番号：80128496

研究代表者の専門分野：消費者教育

科研費の分科・細目：生活科学・生活科学一般

キーワード：シティズンシップ 消費者教育 消費者の権利 消費者の責任 社会的排除  
消費者シティズンシップ教育 社会保障

## 1. 研究計画の概要

- (1) EUにおける消費者シティズンシップ教育の資料収集と分析
- (2) 我が国におけるシティズンシップ不全の状況把握—多重債務者データを利用
- (3) 我が国の消費者教育、家庭科教育におけるシティズンシップ教育への具体的な提言

## 2. 研究の進捗状況

(1) EUにおける消費者シティズンシップ教育については、EUでの中心的な学会であるCCN: Consumer Citizenship Network 本部（ノルウェー・ヘドマーク大学）へ聞き取り調査を行った。その後CCNのメンバーに加わり、学会発表及び情報収集を行った。CCN エストニア大会では、「Information, Values and Decision-making that Influence the World」と題して、消費者シティズンシップ教育においては、社会変革に結びつく消費者の意思決定プロセスの学習が重要であることについて論じた。この論文では意思決定プロセスにおける批判的思考、実践的推論の活用について言及している。それに続くベルリン大会でも、以下(3)に示す学会発表を行っている。CCNではこれまでに論文2報が掲載されている。

(2) 我が国におけるシティズンシップ不全の状況については、沖縄クレジット・サラ金被害をなくす会の協力を得て、2007～09までの3回の調査を終了し、その結果もすでに公表している。これについては、「沖縄県における多重債務問題と貧困」として分担執筆の共著がでている。それ以前のデータもあわせ

て最終的に来年度にまとめる予定である。

(3) 我が国における具体的な提言については2報ある。消費者シティズンシップ教育を導入して消費者教育全体の枠組みをどう変えていくかについては、「消費者シティズンシップ教育試案—よりよい社会のための責任ある経済投票権の行使—」と題して、国民生活研究に掲載された。英国のシティズンシップ教育を参考に、我が国の消費者シティズンシップ教育における社会参加のための知識、スキル、態度の形成について論じた。

さらに、家庭科教育への提言としては、「An Exploratory Framework for Consumer Citizenship Education in Japan's Home Economics Education Curriculum,」と題してCCN ベルリン大会で発表し、論文が掲載されている。

## 3. 現在までの達成度

本研究課題の当初研究目的の達成度は「①当初の計画以上に進展している。」となっている。

その理由としては、この3年間でこの研究に関して、国内外の学会発表5回、すでに活字になった報告は、雑誌論文で国際学会2報、国内学会1報、紀要1報、国レベル招待論文1報であり、分担執筆の共著書1報を含めると、計6報となっている。現在投稿中の論文や印刷中の共著書もあり、この研究の大枠はほぼ埋めることができたと考えている。

## 4. 今後の研究の推進方策

現在までに報告した論文は「消費者シティズンシップの形成と教育」における各パートとなっているが、それらをつなげる作業がま

だ残っている。学会誌等への投稿では、どうしても頁数に限界があり、その内容は、十分意をつくせない論述となっている。研究の最終年度である本年は、消費者シティズンシップ教育の必要性、特徴、育成する能力、現在の消費者教育へどう統合するか、そこからわかる消費者政策への提言等をもっと丁寧に整理する予定である。

#### 5. 代表的な研究成果

##### (1) [雑誌論文] (計 5 件)

- ① 花城梨枝子, 消費者シティズンシップ教育試案—よりよい社会のための責任ある経済投票権の行使—国民生活研究第49巻第3号, 招待論文, 2009, 43-57
  - ② Rieko HANASHIRO, Lakshmi MALROUTU, Diane MASUO, An Exploratory Framework for Consumer Citizenship Education in Japan's Home Economics Education Curriculum, *Consumer Citizenship: Promoting New Responses* Vol.5, 査読有, 2009, 189-202
  - ③ 石川ふじの, 花城梨枝子, 消費者教育における社会保障給付による金銭やサービスの学習内容の検討—社会保障給付に関する沖縄県の現状と大学生の意識調査を通して—, 消費者教育 29, 査読有, 2009, 57-66
  - ④ 石川ふじの, 花城梨枝子, 高等学校家庭科における「暮らしと社会保障」学習の必要性, 琉球大学教育学部紀要第75集, 査読無, 2009, 89-100
  - ⑤ Rieko HANASHIRO and Lakshmi MALROUTU, Information, Values and Decision-making that Influence the World, *Consumer Citizenship Promoting New Responses* Vol.4, 査読有, 2008, 51-64
- ##### (2) [学会発表] (計 5 件)
- ① 石川ふじの, 花城梨枝子, 消費者教育における社会保険学習—多重債務者の公的年金・公的医療保険へのアクセス状況と問題点より—, 日本消費者教育学会第29回九州大会, 2009/10/11, 長崎大学
  - ② Rieko HANASHIRO, Lakshmi MALROUTU, Diane MASUO, An Exploratory Framework for Consumer Citizenship Education in Japan's Home Economics Education

Curriculum, Consumer Citizenship Network International Conference, 2009/03/24, Technical University of Berlin, Germany

- ③ 石川ふじの・花城梨枝子, 消費者教育における公的サービス学習, 日本消費者教育学会第28回北海道大会, 2008/10/12, 北海道立道民活動センターかでの2・7
  - ④ 石川ふじの・花城梨枝子, 家庭科における「暮らしと社会保障制度」学習の必要性, 2008年生活経営部会夏期セミナー—日本家政学会生活経営部会, 2008/08/20, 日本女子大学
  - ⑤ Rieko HANASHIRO, Lakshmi MALROUTU, Information, values, and decision-making that influence the world, Consumer Citizenship Network International Conference, 2008/5/5-6, Tallinn University Estonia
- ##### (3) [図書] (計 1 件)
- ① 花城梨枝子「沖縄県における多重債務問題と貧困」, 沖縄タイムス, 『やわらかい南の学と思想』(琉球大学編) 2008, 124-132
- ##### (4) [産業財産権]
- 出願状況 (計 0 件)
- 名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:
- 取得状況 (計 0 件)
- 名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
取得年月日:  
国内外の別:
- ##### (5) [その他] ( 0 件)